

参考書紹介

教科書として指定してある原康夫著「物理学基礎」(学術図書出版社)以外で、演習問題がのっている本はないか、という質問がありました。物理通論Iで扱う内容は「力学」または「古典力学」という分野です(「古典」以外がついた「**力学」は別の内容です)。図書館や本屋に行けば、そのようなタイトルの本がたくさん見つかると思います。基本的には自分にあった本を選んでもらえば良いのですが、読んだことのあるもので良さそうな本をいくつか紹介しておきます。

教養科目としての力学を勉強する上でお勧めできるものは

- 原康夫著 基礎物理学シリーズ「力学」(東京教学社)
- 戸田盛和著 物理入門コース「力学」(岩波書店)

あたりです。どちらも最近新版が出たようですが、昔から多くの大学で利用されており、問題の解説もそれなりに丁寧です。内容は「物理学基礎」よりもしっかりとしています。物理学科で使う教科書としては

- 江間健司著 基礎物理学課程「力学」(培風館)

が簡潔にまとまっています。演習書はあまり知らないのですが、物理学科向けのものとして

- 岡真著 フロー式 物理演習シリーズ「質点系の力学」(共立出版)

があります。力学を専門的に勉強するには

- ランダウ、リフシッツ著 「力学」(東京図書)
- ゴールドスタイン著「古典力学」(吉岡書店)

を読むことになります。